

平成 22 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 22 年 7 月 29 日 (木) 14 時 00 分～17 時 05 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス (アプローズタワー14 階 1401 教室)
3. 出席者 (敬称略、順不同)

大阪大学附属図書館	奥田 正義
関西学院大学図書館	兄井 栄子
京都大学附属図書館	渡邊 伸彦
神戸大学附属図書館	土屋 祥子
大阪府立大学学術情報センター	武智 加奈子
神戸市外国語大学学術情報センター	飯島 祐子
追手門学院大学附属図書館	高畑 悦子
流通科学大学附属図書館	長尾 晴美
京都学園大学図書館	松本 正裕

(京都産業大学図書館 真部委員は欠席)

4. 配布資料

- 資料 1 平成 22 年度第 3 回能力開発専門委員会の開催について (ご案内)
- 資料 2 平成 22 年度第 2 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要
- 資料 3 平成 22 年度能力開発専門委員会開催日程検討資料
- 資料 3-① [決算案 (決算報告書、決算報告 支出明細 (一般の部)、決算報告 収支明細 (情報交換会の部)]
- 資料 3-② 平成 22 年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」アンケート調査結果
- 資料 3-③ 受講機関職員数
- 資料 3-④ [各委員「初任者研修のまとめ」]
- 資料 3-⑤ 研修資料冊子原稿の作成について 平成 22 年度 (初任者研修資料)
- 資料 3-⑥ 近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会 会計について
- 資料 4-① 平成 22 年度近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」収支リスト
- 資料 4-② 広報・掲示物作成案
- 資料 4-③ 研修会当日のパソコンおよびインターネットの使用について (6 月 15 日現在)
- 資料 4-④ 平成 22 年度「初任者研修」(2010 年 6 月 24 日-25 日) 司会原稿

5. 議 事

1) 平成 22 年度「初任者研修」について

第 2 回委員会議事概要の確認が行なわれた。次いで渡邊委員より決算報告書について説明があり、会計監査が終了したとの報告があった。

① 研修会資料の Web 掲載について

高畑主査より Web 掲載については既に運営委員会で承認済みであるとの報告があり、先ず昨年度と今年度 2 回分の研修資料の掲載を主査から広報・Web 専門委員会へ依頼することになった。次いで送付する原稿についての確認を行なった。

平成 21 年度： 中級研修報告書（冊子体）の PDF 原稿を送付する。

平成 22 年度：

講師資料

パワーポイント原稿を送付し、編集・掲載については広報・Web 専門委員会に一任する。

アンケート調査結果

Web 掲載されている平成 17 年度と同じ様式で編集・集計したものとする。

受講者所属機関調査結果表

専任職員数別の表をグラフ化し、「専任・非専任の区別は 2010 年度図書館調査（JLA）を流用した」との注記を追加する。

講師資料は武智委員から、その他は兄井委員から広報・Web 専門委員会へ送付することが確認された。

② 研修会のまとめ

各委員が事前に作成した「研修会のまとめ」について説明を行い、それに基づいた意見交換を行なった。主な内容は次のとおりであった。

- 会場校の大阪大学のスタッフの方々には設営、見学会、情報交換会などあらゆる面で協力いただき大変感謝している。研修会場は程よい大きさで、受付や控室が同じフロアに設置できたので運営しやすかった。
- 今後の研修では少人数の職場の方へも配慮し、部分参加も検討していく。
- 賛助会員資格での参加者の扱いが決まっていない部分があり混乱した面もあったが、次回からは、6 月に研修がある場合は広告募集を早める工夫が必要であること、賛助会員用の受講決定通知等も作成すること、受講条件を事前に検討しておく必要があることが確認された。また今回、研修参加費の基準となる金額（1,000 円）が決まったのはよかった。
- 配布資料の原稿校正作業を全委員で行なったのは短時間で多面的なチェックができてよかった。ただ添付ファイルでのやりとりの際、ファイルの大きさが 5-6MB という微妙な大きさだったため、メール受信に時間が

かかる場合があった。添付ファイルにするなら 2-3MB に分割する、あるいはセキュリティ面を勘案しながら宅ふぁいる便などのファイル受け渡しサービスやメール便、グループウェアの利用なども検討する必要があるとの意見があった。また来年度は大阪府立大学が専門委員からはずれることもあり、印刷の依頼先を考えておく必要があることが確認された。

- 1 日目の講義では、タイムキーピングが功を奏し、終了時刻を守れたことはよかった。ただし時間設定について、休憩時間の取り方を工夫する必要があること、昼休みの時間帯を食堂の混雑時間帯とずらす必要があること、アンケート回答時間を設定する必要があるなどの反省があった。
- アイスブレイクを兼ねた自己紹介は、和やかな雰囲気情報交換会、2 日目の研修へとつなげることができてよかった。じゃんけん勝ち抜き景品は良いものが沢山集まっていたので、最終勝ち抜き者一人に渡すのではなく、複数で分け合ったり、全員に内容を紹介したりしてもっとアピールすればよかった。
- 2 日目の三川先生の講演、演習を図書館業務にひきつけるための専門委員会側のフォローが必要だった。
- 事前の案内がうまく行って今回は広報資料が数多く集まった。しかし持参資料を指定した展示場所へ置いてもらう誘導方法に改善の余地があるとの意見が出された。受付で一人ずつに口頭で案内するのは少々無理があったし、配布用・展示用を分けて置くという案内が不足していた。

以上の議論および各委員のまとめを次回研修会に生かしていくことが確認され、高畑主査が運営委員会への実施報告書まとめることとした。また、研修の様子を撮影した写真を年次報告用に運営委員会事務局へ送付することとした。

2) 平成 23 年度の研修事業について

初級と中級を交互に実施するという原則に従い、平成 23 年度は中級研修を実施することとした。研修会場は、奥田委員を通じて大阪大学へ意向を打診することになった。

平成 23 年 2 月に開催予定の運営委員会で企画案を承認してもらい、5 月末までに詳細を詰める方向で作業を進めていくことが確認され、9 月 17 日（金）までに、各委員が企画（内容・開催時期・講師など）を考え、ミーリングリストを通じて提出することになった。

3) その他

① 第 1 回運営委員会報告

高畑主査より、京都地区選出委員の交替が 2 名同時にならないよう配慮してほしいとの要請があったと報告があり、次いで、兄井委員より、近畿イニ

シアホームページに掲載されている「近畿イニシアとは、何ですか？」の文章が、初任者研修資料の記述と同じものに更新される旨報告があった。

② 次回専門委員会開催予定

9月22日、29日、30日を候補日として調整することとなった。

以 上